

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-104188

(43)公開日 平成9年(1997)4月22日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 2 D 15/00	3 3 1		B 4 2 D 15/00	3 3 1 Z
A 0 1 C 1/04			A 0 1 C 1/04	Q
B 4 2 D 3/04			B 4 2 D 3/04	C
G 0 9 F 7/00			G 0 9 F 7/00	M

審査請求 未請求 薩求項の数2 FD (全4頁)

(21)出願番号 特願平7-287988

(22) 出願日 平成7年(1995)10月9日

(71)出願人 395020195
株式会社グリーンファーム
静岡県浜松市吳松町3298番地の288

(72)発明者 宮野 弘司
静岡県浜松市呉松町3298番地の288 株式

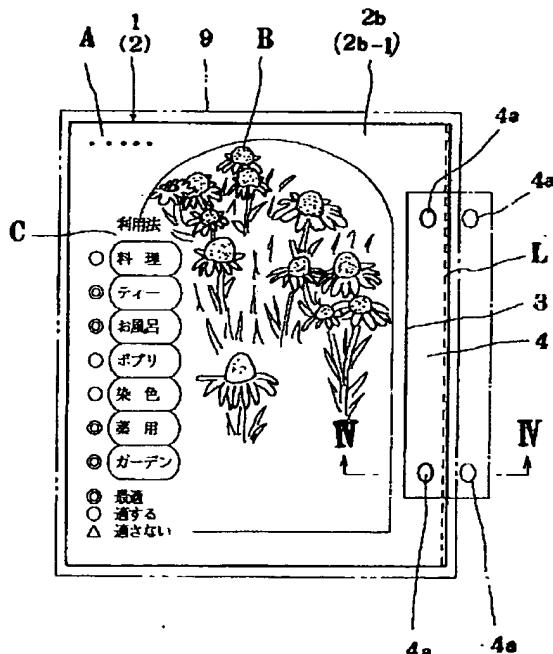
(34) 代理人 参理士 越川 隆志

(54) 【発明の名称】 種子の説明用カード

(57) 【要約】

【課題】 該当する種子に関する種々の情報を記載した説明用カードをファイリングして本として活用できるようになるとともに、種子の名前、蒔いた日、育成方法等を記載した名札片を上記説明用カードから分離可能にし、これを花壇に差し込むことによって正しく栽培できるようにする

【解決手段】 比較的厚手の紙材により矩形状の主体を形成し、該主体を左右方向中心部にて二つ折りにし、一方の折り片の折り曲げ端部の上下方向中間部に、スリットにより分断されて主体の左右方向中心部の折れ線を中心として屈曲可能の綴り片を形成するとともに、該綴り片の上下両端部に綴り孔を明け、前記一方の折り片であってかつ山折り側の面に、該当する種子の名前、植物写真（絵）、及び利用法を記載し、前記主体の他方の折り片の外側端部にミシン孔により主体と分離可能な名札片を設け、該名札片は、上部を広幅にかつ下部をV型に形成するとともに、上部に該当する種子の名前、育成方法を記載する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 比較的厚手の紙材により矩形状の主体を形成し、該主体を左右方向中心部にて二つ折りにし、一方の折り片の折り曲げ端部の上下方向中間部に、スリットにより分断されて主体の左右方向中心部の折れ線を中心として屈曲可能の綴り片を形成するとともに、該綴り片の上下両端部に綴り孔を明け、前記一方の折り片であってかつ山折り側の面に、該当する種子の名前、植物写真(絵)、及び利用法を記載し、前記主体の他方の折り片の外側端部にミシン孔により主体と分離可能の名札片を設け、該名札片は、上部を広幅にかつ下部をV型に形成するとともに、上部に該当する種子の名前、育成方法を記載する構成としたものである。また、前記名札片を除く主体の谷折り側の各面及び山折り側の他方の面に、該当する種子のデータ、利用方法、及び由来等を記載することを特徴とする種子の説明カード。

【請求項2】 前記名札片を除く主体の谷折り側の各面及び山折り側の他方の面に、該当する種子のデータ、利用方法、及び由来等を記載したことを特徴とする請求項1記載の種子の説明カード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、種子と共に袋内に収容され、購入者に当該種子の育成方法、利用方法等について解説する種子の説明用カードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の技術として、種子を収容する封筒状の袋の表側に、該当する種子の名前、植物写真(又は絵)を記載し、袋の裏側に種子の蒔き方及び栽培(育成)方法等を記載したものがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来のものは、袋の表裏面に、収容する種子に関する記事を記載するようになっていたので、紙面が限られ、種子名、種子の蒔き方及び栽培(育成)方法等、当面必要とする事項しか記載することができず、資料として活用することが乏しいものであった。また、蒔いた種子の近く(花壇)に設置した際に、風雨によって損傷・飛散され易く、種子が成育するまで適正な栽培を遵守することが困難になるものであった。本発明は、上記欠点を解消した新規な種子の説明用カードを得ることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記目的を達成するために以下の如く構成したものである。即ち、比較的厚手の紙材により矩形状の主体を形成し、該主体を左右方向中心部にて二つ折りにし、一方の折り片の折り曲げ端部の上下方向中間部に、スリットにより分断されて主体の左右方向中心部の折れ線を中心として屈曲可能の綴り片を形成するとともに、該綴り片の上下両端部に綴り孔を明け、前記一方の折り片であってかつ山折り側の面に、該当する種子の名前、植物写真(絵)、及び利用法を記載し、前記主体の他方の折り片の外側端部にミ

シン孔により主体と分離可能の名札片を設け、該名札片は、上部を広幅にかつ下部をV型に形成するとともに、上部に該当する種子の名前、育成方法を記載する構成としたものである。また、前記名札片を除く主体の谷折り側の各面及び山折り側の他方の面に、該当する種子のデータ、利用方法、及び由来等を記載するとよい。

【0005】

【発明の実施の形態】 以下本発明の実施例を図面に基いて説明する。図面において、図1は本発明の実施例を示す閉じた状態の正面図、図2は図1の背面図、図3は開いた状態で内側からみた平面図、図4は図1のIV-IV線による拡大断面図である。図1～図3において、1は種子の説明用カードであり、この説明用カード1は、厚さが0.3mm程度の比較的厚手の紙材を裁断して縦(上下)が約155mm、横(左右)が約190mmとなる長方形状の主体2を形成し、この主体2に所定の加工を施すとともに、各面に所定事項を記載する。

【0006】 即ち、上記主体2を、左右方向中心部の折れ線L(図3)を中心とし、右側から左側に向けて二つ折りにする。右側の折り片2bの折り曲げ端部(図1において右端)の上下方向中間部に綴り片4を形成する。この綴り片4は、図1及び図4に示すように、スリット3により上記折れ線Lに向かってコ字形に分断し、上記折れ線Lを中心として屈曲する上下方向に細長い綴り片4を形成する。この綴り片4の上下両端部に綴り孔4a、4a'を明ける。各綴り孔4a、4a'は、市販されているファイルのピンあるいはブリキファスナー等の綴り具に嵌合する孔径及びピッチ、例えば、孔径を8mm、上下方向のピッチを80mmとする。

【0007】 また、上記主体2の左部の折り片2aの外側端部(図3において左端部)にミシン孔6により主体2、つまり左部の折り片2aと分離可能の名札片7を形成する。この名札片7は、上部7aを広幅の長方形状にかつ下部7bをV型に形成する。

【0008】 前述した右側の折り片2bであってかつ山折り側の面2b-1には、図1に示すように、該当する種子の名前A、植物写真(又は絵)B、及び料理・ティー・お風呂・ボブリ等の利用法(用途)C等を記載する。また、左側の折り片2aであってかつ山折り側の面2a-1には、図2に示すように、該当する種子の由来等D、生産地、発芽率(図示省略)等を記載する。

【0009】 また、左右の折り片2a、2bの谷折り側の面2a-2、2b-2には、図3に示すように、名称、開花期、花の色、草丈、適する土壤等のデータE、育て方F、使い方G等を記載する。また、前述した名札片7の一方の面には、図2に示すように、蒔いた日H、名前Jを、他方の面には、図3に示すように、育て方K等を記載する。

【0010】 そして、上記のようにして形成した説明用カード1内に、所定の種子を挟み込み、これを図1に示

3
すように、セロファン紙等の透明シートにより形成された袋9内に収容する。

【0011】上記実施例によれば、袋9を透して見える右側の折り片2bの山折り側の面2b-1、及び左側の折り片2aの山折り側の面2a-1の記事によって、袋9内に収容された種子の名前A、植物写真（又は絵）B、及び料理・ティー・お風呂・ボブリ等の利用法（用途）C、並びに上記種子の由来等D、生産地、発芽率（図示省略）等が分かり、需要者は袋9を開封する前に購入の要否の判断をすることができる。

【0012】また、袋9を開封した際には、左右の折り片2a、2bの谷折り側の面2a-2、2b-2に記載された開花期、花の色、草丈、適する土壤等のデータE、育て方F、使い方G等の記事、及び蒔いた日H、名前J、育て方K等が記載された名札片7を主体2から分離し、これを種子を蒔いた花壇に差し込むことによって、正しく栽培することができるとともに、開花した花を有効に利用することができる。

【0013】また、綴り片4を、図1及び図4の仮想線で示すように、折れ線Lを中心として外方に折り曲げ、この綴り片4の綴り孔4a、4aを介してファイルあるいはブリキファスナー等に綴ることによって、各種の説明用カード1をファイリングし、花の本として活用することができる。

【0014】

【発明の効果】以上の説明から明らかな如く、本発明は、比較的厚手の紙材からなる矩形状の主体に、該当する種子に関する種々の情報を記載し、これを二つ折りにしてその折り曲げ部にスリットにより分断されて主体の

10

4

折れ線を中心として屈曲可能の綴り片を設けるようにしたので、説明用カードをファイリングして本として活用することができる。また、主体の一部に、名札片を分離可能に設け、この名札片に所定の種子の名前、蒔いた日、育成方法等を記載するようにしたので、これを種子を蒔いた花壇に差し込むことによって、正しく栽培することができる等の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例を示す閉じた状態の正面図である。

【図2】図1の背面図である。

【図3】開いた状態で内側からみた平面図である。

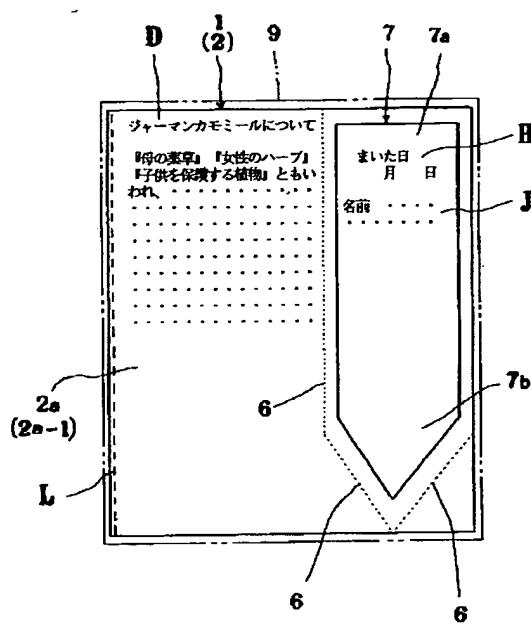
【図4】図1のIV-IV線による拡大断面図である。

【符号の説明】

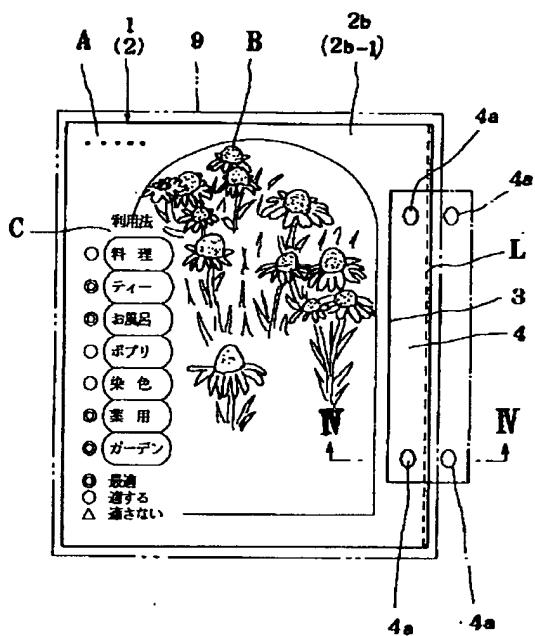
1	説明カード
2	主体
2a	左側の折り片
2a-1	山折り側の片
2a-2	谷折り側の片
2b	右側の折り片
2b-1	山折り側の片
2b-2	谷折り側の片
3	スリット
4	綴り片
4a	綴り孔
6	ミシン孔
7	名札片
9	袋

20

【図2】



【図1】



【図3】

